

大豆栽培管理情報 (第2号)

1. 6月中旬の播種作業は～栽植密度を高めて目標本数を確実に確保～

大麦跡で大豆を作付けされる方は、大麦収穫後、すぐに播種できるように準備しましょう。

- 大豆の基肥量の目安は大豆栽培管理情報第1号をご参照下さい。
- 麦跡大豆は麦稈の腐熟に窒素が必要なため、基肥以外に耕起前に硫安 10kg/10a を施用しましょう。

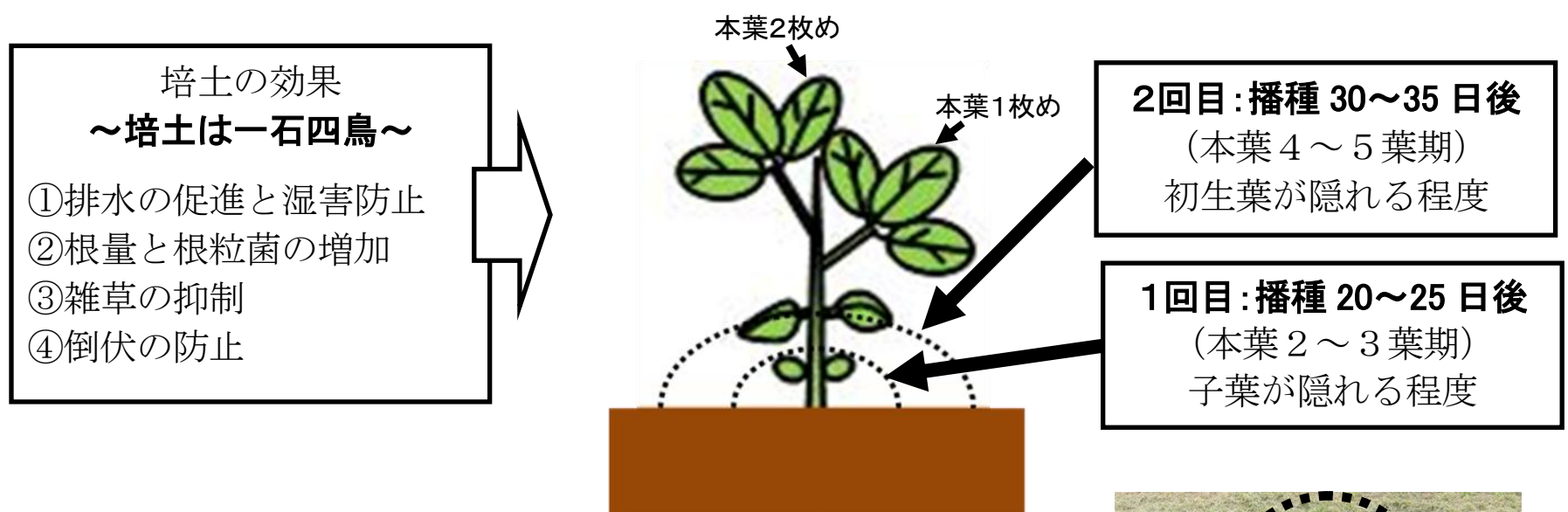
《6月中旬播種の目標栽植本数とスプロケットの目安》

目皿	目標栽植本数	播種量		mあたり 播種粒数	スプロケットの目安	
		大粒	中粒		目皿側	車輪側
B-22	18,000 本/10a	大粒	7.1kg/10a	17粒	13	11
		中粒	5.4kg/10a			

※百粒重は大粒 35.3g と中粒 27g で換算。条間 80 cm、1株2粒播種、苗立率 90%の場合

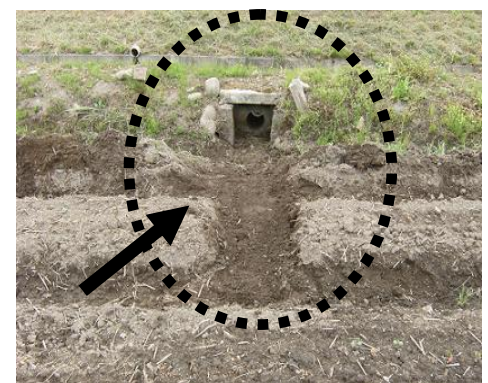
2. 培土作業 ～1回目は遅れずに、2回目は確実に！～

- 培土作業は、ほ場条件の良い時に、晴れ間を見て早めに実施しましょう。
- 培土の効果を高めるため、株元にしっかりと土をかけましょう。



3. 排水溝の点検・手直し

- 生育量の確保には、本葉2～3葉期頃までの排水対策が最も重要です。
- ほ場に水が溜まらないよう、播種後および培土後には必ず排水溝を点検し、額縁排水溝や排水口に確実に連結しましょう。



排水溝を連結し、水尻へつなげる

4. 帰化雑草の防除

- 管内でアサガオ類等の帰化雑草の発生が見受けられます。
- 大豆ほ場内でみかけた場合は、すぐに抜き取りましょう！



発生初期の帰化アサガオ類



ほ場内での発生の様子



帰化アサガオ類の抜き取り